

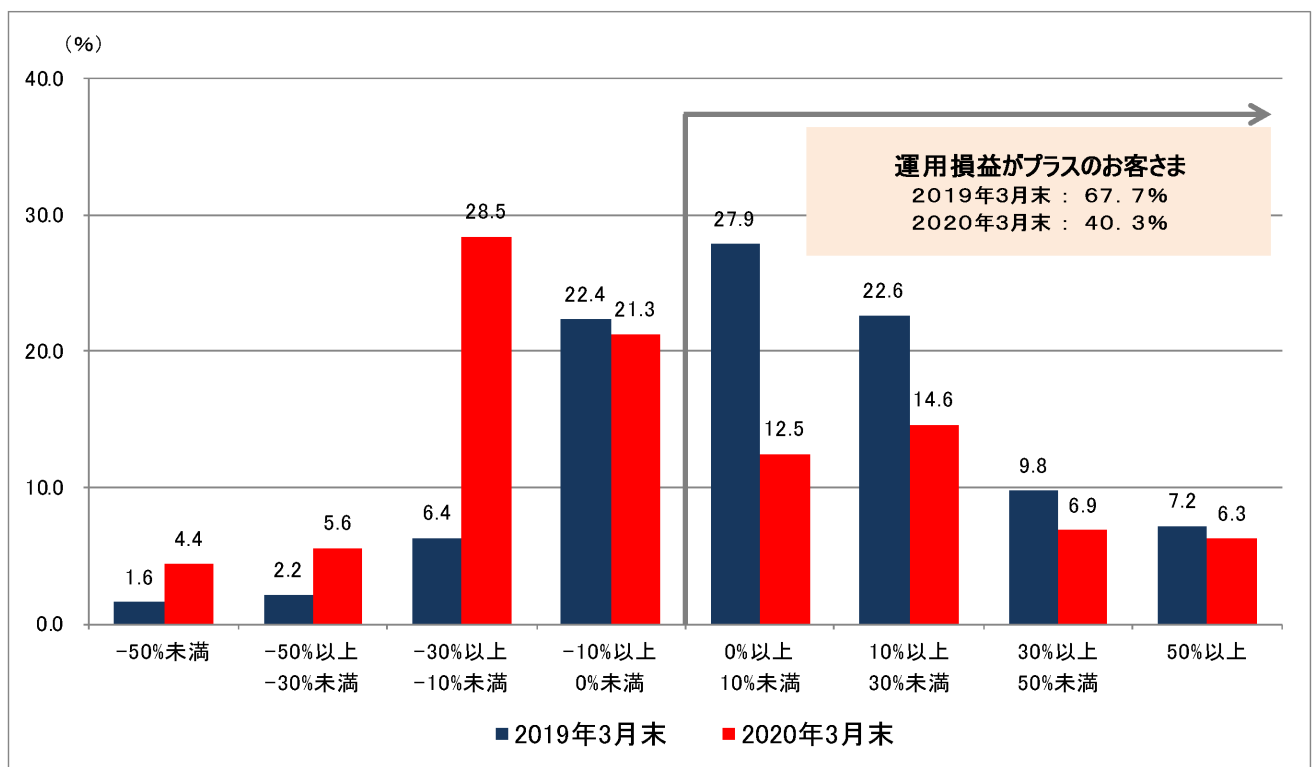
お客さま本位の業務運営に関する取組み

—2019年度の投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI—

1. 運用損益別顧客比率

投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益(手数料控除後)を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標です。この指標により、個々のお客さまの運用損益がどのように分布しているか見ることができます。

運用損益別顧客比率



- ※ 対象のお客さま: 基準日時点で投資信託を保有している個人のお客さま
- ※ 運用損益: $[\text{基準日時点の時価評価金額} + \text{累計受取分配金額(税引後)} + \text{累計売却金額} - \text{累計購入金額(消費税込の販売手数料を含む)}] \div [\text{基準日時点の時価評価金額}]$
- ※ 基準日時点までに全部売却・償還された銘柄は対象外
 <参考> 基準日時点までに全部売却・償還された銘柄を含めた運用損益別顧客比率 ⇒ 運用損益がプラスのお客さま: 61.37%
- ※ 小数点以下第2位を四捨五入しております

- ・2020年3月末時点で、40.3%のお客さまの運用損益がプラスとなりました。
- ・運用損益は、市場の動向等により変動しますが、お客さまの運用損益を重視したフォローアップの取組みを重要な活動と位置づけ、お客さまとの継続的な対話に努めてまいります。
- ・十六TT証券株式会社(2019年6月営業開始)は、開業後1年を経過しておらず、お客さまが金融事業者を選ぶ上で比較する数値について、統一的な情報の公表が困難であると判断したため、お客さま保護の観点から数値を公表いたしません。

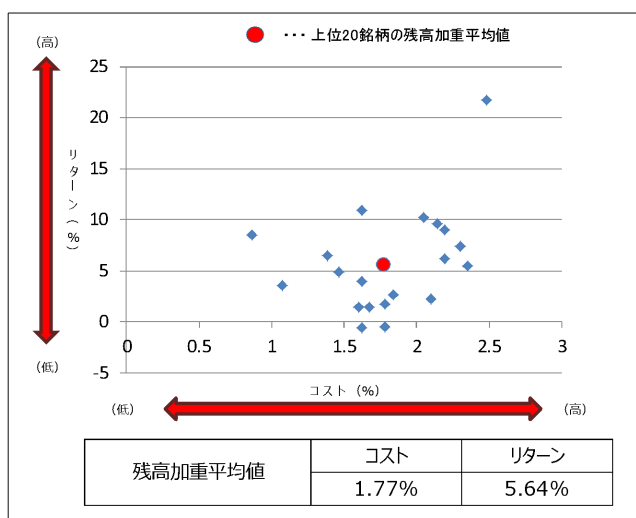
2. 預り資産残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン

投資信託（設定後5年以上）の預り資産残高上位20銘柄について、銘柄ごとに預り残高加重平均し、コストとリターンの関係、リスクとリターンの関係を示した指標です。

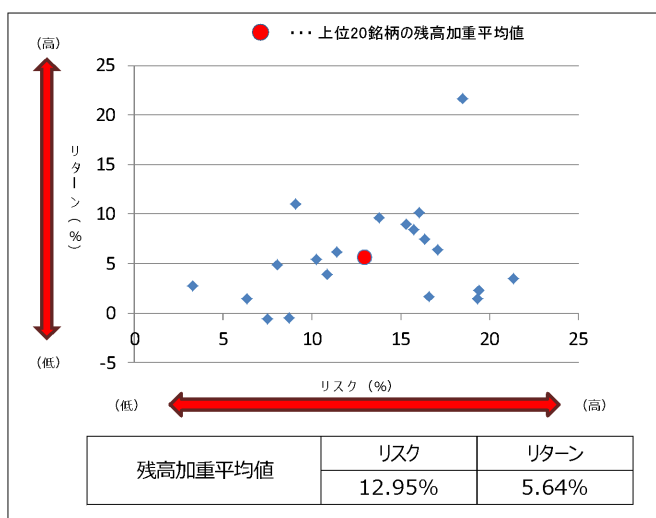
これらの指標により、中長期的にコストやリスクに見合ったリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたか見るすることができます。

【2019年3月末】

投資信託の預り資産上位20銘柄の
コスト・リターン

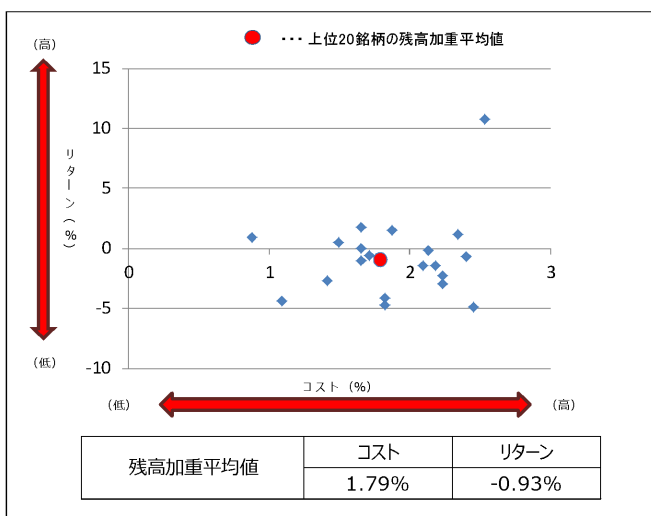


投資信託の預り資産上位20銘柄の
リスク・リターン

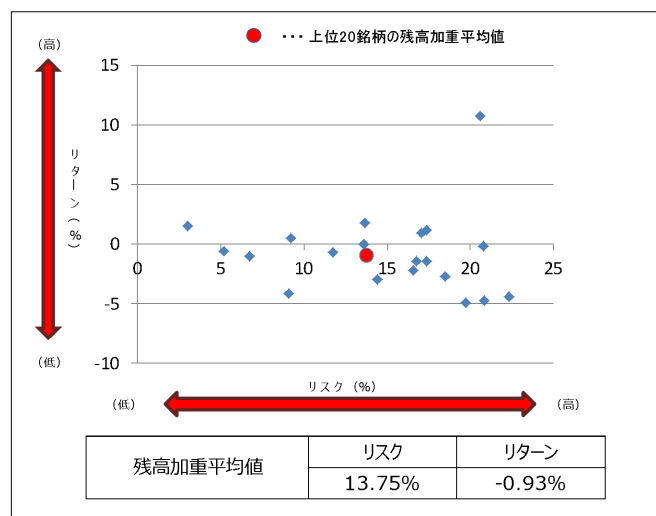


【2020年3月末】

投資信託の預り資産上位20銘柄の
コスト・リターン



投資信託の預り資産上位20銘柄の
リスク・リターン



投資信託預り残高上位20銘柄

単位：％

順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	1.65	13.62	0.00
2	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(毎月決算型)	2.40	11.74	-0.71
3	フィデリティ・USリート・ファンドB	2.09	17.37	-1.43
4	トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	1.09	22.31	-4.40
5	日経225ノーロードオープン	0.88	17.10	0.89
6	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.71	5.19	-0.56
7	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.49	9.21	0.54
8	投資のソムリエ	1.87	3.02	1.52
9	新光 US-REIT オープン	2.23	16.59	-2.24
10	インベスコ世界厳選株式オープン ヘッジなし (世界のベスト)	2.45	19.76	-4.89
11	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)	1.82	9.11	-4.15
12	ピクテ新興国インカム株式ファンド(毎月決算型)	1.82	20.82	-4.74
13	東海3県ファンド	1.41	18.47	-2.71
14	野村Jリートファンド	1.65	13.67	1.75
15	フィデリティ・日本成長株・ファンド	2.34	17.39	1.21
16	ニッセイ高金利国債債券ファンド	1.65	6.71	-0.98
17	ダイワ・グローバルREIT・オープン(毎月分配型)	2.18	16.79	-1.44
18	グローバル財産3分法ファンド(毎月決算型)	2.23	14.42	-2.95
19	ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	2.13	20.78	-0.19
20	MHAM新興成長株オープン	2.53	20.58	10.77

※ 対象銘柄：設定後5年以上経過している、投資信託の預り資産残高上位20銘柄

※ コスト：販売手数料率上限(消費税込)の1/5(年率換算)と信託報酬率(消費税込)の合計値

※ リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

※ リターン：過去5年間のトータルリターン(年率換算)

※ 小数点以下第3位を四捨五入しております

- ・2020年3月末時点で、設定後5年以上の投資信託の預り資産残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターンの平均値は、コスト：1.79%、リスク：13.75%、リターン：-0.93%となっております。
- ・今後とも、コスト・リスク・リターンのバランスを意識しつつ、お客さまの長期・積立・分散投資に適した商品の導入や、ラインナップの見直しに取り組んでまいります。
- ・十六TT証券株式会社(2019年6月営業開始)は、開業後1年を経過しておらず、お客さまが金融事業者を選ぶ上で比較する数値について、統一的な情報の公表が困難であると判断したため、お客さま保護の観点から数値を公表いたしません。